

「令和7年度宮城県古川農業試験場成果報告会」の開催について

宮城県古川農業試験場の最新の試験研究成果や取り組んでいる研究の話題を紹介し、県内の農業者、農業法人、集落営農組織等への普及・指導を通じた経営安定化の一助とするため、本成果報告会を開催します。

報告会では、「普及に移す技術候補課題の紹介」とともに、古川農業試験場で行われている「最新の研究内容紹介」について報告を行います。

最新の試験研究成果について知ることのできる、またとない機会ですので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材して下さるようお願いします。

記

- 1 報告会名称 令和7年度宮城県古川農業試験場成果報告会
- 2 日 時 令和8年3月12日（木曜日）午後1時30分から午後4時まで
- 3 場 所 宮城県古川農業試験場大会議室
住所（大崎市古川大崎字富国88）
- 4 主 催 宮城県古川農業試験場
- 5 内 容
 - （1）普及に移す技術候補課題の紹介
 - イ いもち病抵抗性に優れる飼料用米向け多収品種「東北244号」について
 - ロ 水稲乾田直播栽培におけるドローンを利用した播種体系
 - ハ 牛ふん堆肥を活用した水稲の肥料コスト低減技術
 - ニ ダイズ畑土壌へのバイオ炭「もみ殻くん炭」施用による炭素貯留および土壌物理性改善効果
 - （2）最新の研究課題の紹介
 - イ 温暖化に対応した作物病害虫管理
 - ロ 子実用トウモロコシの導入による持続的低投入型輪作技術
- 6 参 加 者 農業者、農業法人、市町村、農業協同組合、全農みやぎ、みやぎ農業振興公社、農業共済組合、土地改良区、県関係機関